

- This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene... -

feature interview

DJ HAZIME

プロデュースワークやSHAKKA ZOMBIE/DABO/S-WORDのLIVE DJなど多忙な日々をこなしつつも、原点はあくまでも[CLUB DJ]であるというHAZIME。DJ TAIKIと共に土曜日「NO DOUBT」を支え続け、音のメッセージで語り続けるDJ HAZIMEが、約1年ぶりとなるインタビューでその胸の内を率直に語ってくれた。読んでいただけじゃ解らない、真意は「NO DOUBT」にあり!

■まず始めに今年のカウントダウンDJという大役を果たした感想は?

フライヤーとかってまず有名な人が先に出て、若い子が一番最後の方に名前出るじゃん。10代の終わくらいからDJをやっている、とどんど下から順番が上がってって、この前カウントダウンでDJをやってみて、ああオレも階段は上って来てるんだなって実感したし、HARLEM側の期待というか、HAZIMEなら盛り上げてくれるんじゃないかみたいなものは言われなくても感じる所だから素直に嬉しかったよね。何年もカウントダウン見て来てるし、今までやってきた先輩方を見て盛り上がるって思う事が多かったから、自分が実際にやってみて思うのは、もっと自分で思った事をマイクを使って喋れば良かったなと。

実際ライブとかでも喋ってるし、地方でもライブが終わって最後までDJする時は、地名があって、クラブの名前があって、イベントのタイトルがあって、喋る事がいっぱいある訳じゃん。この前はそれがHARLEMのコール&レスポンスだったり、HAPPY NEW YEARだったりする訳で、パリエーション増やせば良かったかなって。4パターン位しか言えなかった(笑)。

■2003年一発目は「NO DOUBT～真夜中の王国～」でしたね。

あれはもう狙い通り。タイムテーブルが出た時点で最初から決めてたの。1曲目はコレだなって。外人の曲でカウントダウンよりはそういう時に自分の曲でドーンといった方がいいし。そういう意味でも夜のテーマのああいう曲が作れたのは良かったんじゃないかな。まあこの前に関してはフックの部分が「NO DOUBT」じゃなくて「ハ～レム」とかの方が良かったかも(笑)。利用価値のあるレコードってのはいいもんですよ(笑)。

■NO DOUBTでは1週ずつ増えて、今では第1、2、3、5週にプレイされていますが、全体を通して何か感じる変化はありますか?

1週増えたという事は評価されているから増えたんだって思っているから、それによって生まれる責任感、ちゃんと盛り上げてこれからもガッチリやっつけていかなきゃってところのオレの中での変化はありますね。TAIKI君に誘ってもらった時、最初は月1だったからその頃は、そこで自分を見せればそれでいいみたいな部分があったと思う。そこで評価してもらえればそれでいいみたいな部分があったと思うし。そうすれば次もっと増えるって。でも今はまず全体を見れるようになって、もちろんTAIKI君がずっとやっているNO DOUBTなんだけど、自分もNO DOUBTの一員として、自分のイベントっていう意識が出てきたかな。それがオレの中の変化で、責任が出てきたから全体を考えて曲もかけるようになってきている。それが結構いい流れなんじゃないかなって思うね。

お客さんの変化は、土曜日に関してはパッと見だったり男女比率なんかは最近あんまり変わってないんだけど、去年の春夏くらいにもっと女子に踊って欲しいなって気を使いながらやっていた時期があって、それが年末ぐらになって成果が出てきて。女子のお客さんが前より増えたからラストの方で残るのも女子が多くなった。そこは変化といえば変化だね。男は相変わらずだけど。なんかね、オレはそんな気がする。やっぱり同じ曲ばかりかけられないから何回かは悪戯したい訳で、そういう所で食いつきがいいのは女子だし、グラン

ドビートとかかけて土曜日踊っていたのも女の子ばかりだった。男が帰っていくのが見えるんだよね。やっぱり知らないのかなって。でもダンスフロアの女の子は普通に踊っているからさ。女の子の方が耳がいいんじゃないかって。

だからそういう意味でも女子が増えたのはデカイよね。あとは安定して数字を残せるようになったのはいいよね。土曜日NO DOUBTがいい雰囲気やれているからお客さんが増えたって事だと思う。いくら次の日休みだからってつまらなければ来ないもんね。楽しいから来てもらっているんだと思ってるから、今後もいい雰囲気が続けていきたいですね。

■NO DOUBTをより楽しむ為には?

ラストまでもっと残って欲しいね。さすがにいい時間にグランドビートとかはかけられないんだけど、終わりの方まで居るところいうのもかけてますよっていうようにしていきたい。それを楽しみに待っていてくれる人が居てもいいと思うし、グランドビートが聴きたいから、DANCE CLASSICSが聴きたいからまだ居るとかね。そういう人がもっと増えてくれるといいかなと思うしもっと楽しめると思う。

■まだNO DOUBTに来たことがない人へ一言。

結構前は土曜日は新譜がかからないっていうイメージがあったと思うんだけどそれは大きな間違いで、オレもTAIKI君も結構チャレンジしてるからね。「さっきマンハッタンで買って来ました」っていうのもかけたりするし、TAIKI君も盛り上がっている時間帯に「昨日出た」っていうのもドカンっていたりするし。そういうのも楽しみたいって、さっき言ったみたいな古いのも楽しみたいんだったら是非一度来てみて下さい。本当に色々かけているから、絶対楽しめると思います。

■DJ HAZIMEから見た理想のパーティー像は?

理想はね、HIP HOPに限らずR&BもREGGAEもDANCE CLASSICSとかも、あんまり差が無く盛り上がるっていうのがいいかな。HIP HOPのDJって色々かけるからさ。自己満だけじゃなく昔のREGGAEでもSOULでもFUNKでもオレらが良いと思ってかけている曲全部で踊ってくれるのが一番いい。やっぱり「GOT TO BE REAL」とかで楽しそうに踊っている人がもっと増えて欲しいし、REGGAEかけて男と女で腰をくねらせて踊ってくれればいいと思うし。そういうのが理想かな。それが絶対だとは言わないけど、オレはそれが一番楽しいと思ってるから。一晩でいるんなものが聴いたら聴いて飽きないし、やって飽きない。

あとね、「もう終わっちゃったの?感」は出したいのね。サッカーとかでもそうなんだけど、面白い試合ってすぐ終わるんだよね。つまらない試合ってすっごい長いんだよね。だからそういう「え、もう終わりなんだ」っていう風になりたい。

■最近のHARLEMについて感じる事は?

今の状況をちゃんと一回考えた方がいいかなとは思う。新譜しか盛り上がらないじゃん、今。右も左も前も後ろも新譜ばかりで。だけどもっとオレらが聴いてきた音楽がある訳でしょ。それがWU-TANGはウケないとかOLD SCHOOLは知らないとか、他のDJからの嘆きの声は良く聞くと、オレもそれは実際凄く解るし。でもそうやって嘆いているだけじゃ変わらないと思うから。状況見てちょ



こちょこかけてみたりっていうのも必要だと思うんだよね。それこそ新譜しかウケないクラブになっちゃうから。やっぱり昔の曲とか大事だと思うし、そこはちょっと意識しないと、毎日この曜日に行っても同じ様な曲ばかりになっちゃってあんまり面白くないなって思う。

まあただ単にオレの色々かけたいっていうのもあるし、そんなに5時間も6時間も新譜ばかりっていうのも面白くないかな。微妙な変化を感じとってみんな新譜に流れていっているのは解るんだけど。

だから極端な話しをしてしまえば、HARLEMは新譜で凄い盛り上がるんだよねってなっちゃうと、やっぱりみんな新譜しか買わなくなるし、新譜しか聴かなくなっちゃうと思う。

BEATNUTSの「PROPS OVER HERE」とかさ、オレがHARLEMでやりだした頃は凄い武器だったんだけど今じゃ武器にならないからね、アレ。

良くも悪くもアメリカ的な所はあるんだよね。あんまり昔を振り返らないというか新しいものばかりどんどん追っついて。リリースももの凄く量出てるし、情報の量も多いしそれを全部聴くのも大変だし。なおかつ古いのもっていうと大変なのは解るから、「せめてクラブでぐらいいは」っていう所はあるよね。逆に最近の新譜わからないしなっていう、それこそオレと同じくらの世代の人はいると思うし。そこは悪い方の変化かな。

だからオレは手をかえ品をかえ、そんな連チャンでやってもお客も店も困っちゃうだろうから、ちょこちょこそういう古いのとも混ぜてやってきているつもりだし、もうちょっとそこは頑張っけてやりたい所ですね。

■地方に行くと感じる事は?

地方の善し悪し、盛り上がる盛り上がらないっていうのは、その地元のDJにもよると思う。そのDJの人達が普段から意識して自己満じゃなくやれているかっていうのが大事で、自分の所だけやればいって思っているんだしたら違うんじゃないかなって。例えば早い時間に地元の若い子がやって、次に地元で人気のある人がやって、DABOのライブをやって、オレがやったりするでしょ。で、最後オレの後に地元の子が一人とか。DABOの前からオレまでは盛り上がってるし、オレが終わる頃にも人はまだ全然残っているのね。でもその後「え?」って思う事がある。それはその子のスタイルなんだろうけど、全然お客さんの事を考え

てない。そういう地方もまだあるよね。去年ずっとSHAKKA ZOMBIE、S-WORD、DABOのツアーで全国を回ってって思うのはそういう所かな。

■地方のプレイはHARLEMとはまた違いますか?

全然違うよね。HARLEMの場合、例えばその週に何か挑戦してダメでした、じゃあ次の週は違うのをやってみようとか、ダメだった時のフォローが効くからさ。でも地方に関しては、決まったその枠の中で盛り上げなきゃいけないからね。

呼び屋さんとかオレが仲が良い場合は、ツアーとかでも結構長く回すから、DABOのLIVEが終わったらLASTまでっていうパターンなんだけど、そういう時が一番楽しいんだよね。だから地方にオレを呼んでくれる場合は長い方が面白いっすよ。時間をギャラを変えたりはしないので。去年で一応ツアーが一段落したから、今の段階で地方営業も結構入って来てるし、今年は気兼ねなく呼んで下さい。長時間で。

地方も全体的に前よりは凄く良くなってると思ふ。あとはもっと各地で地域差があってもいいんじゃないかな。

■HARLEM ver.2.0の参加が決まりましたが、どういう作品を作ろうと思ってますか?

次は「真夜中の王国」とはまたちょっと違う感じ。でもテーマ的にはまた夜のお話にしたいな。トラックだけで「凄く夜っぽいね」とか「HARLEMっぽいね」という風景を出すのは難しいと思うけど、風景云々じゃなくて曲のイメージとしてパーティーっぽい物が作ればいいかな。自分がDJする時にかけられる曲を作りたいし、なおかつかけた時に有効な曲を作りたいですな。

■お客さん&読者に一言。

土曜に関しては楽しい所をもっと追求していきたいし、混んでるんだけど凄く居心地いいよっていう所でありたい。それはもちろんオレの選曲であり空気の作り方もそうだし。トイレが綺麗とか酒が旨いとかそういう所でもいいと思うんだけど、土曜日全体の毎週毎月毎年が凄く居心地良ければいいなと思います。やっぱりお金払って楽しみに来てるんだしたら出来るだけ楽しい方がいいじゃん。楽しみに上限ってないと思うから。去年よりもっと楽しいから遊びに来て下さい。☺